2020 Aug FREE

ぐりん

若久緑園季刊紙　グリーンピース　第４６号

社会福祉法人共栄福祉会
若久緑園
〒815－0042
福岡市南区若久2丁目3番51号
TEL （092）551-4011
FAX （092）551-4012
Email： wakahisamidori@suo.bbiq.jp

新型コロナウイルス感染拡大の時代に生きて

園長　中村隆

世界を震撼させている新型コロナウイルスについて、情報の交錯とともに未知のウイルスに対峙しながら、この難局を乗り越えようと取り組んでいる令和２年度です。そして非常事態宣言の解除に伴い、気の緩みも感じられるところですが、これから私たちの生活は大きく変化していくことは事実です。人は過去から学び、それを糧に乗り越えてきた歴史があります。今、世間で言われている「新しい生活様式」の実践は模索しながらも、新型コロナウイルスと共存せざるを得ない状況とも言えます。もはや感染拡大前には完全には戻れない。その中で私たちは誰しも不安と葛藤の毎日なのではないかと思います。

これまで、若久緑園は予防策を講じながら各関係機関と連携の中で情報収集し、それを踏まえ、課題解決に取り組んできました。苦しかったのは、マスク・消毒液の不足に加え、学校に３カ月を超えて行けない子ども達に対して、２４時間支援を届けていくことへの支援体制でした。そもそも日中支援を想定していない事業（単価設定）ゆえ、人的不足と過重労働になったことが挙げられます。職員は誠実に子ども達、利用者の方々に寄り添いながら進めていきました。学校再開により、日常の大切さを感じずにはいられませんでした。それでも気を緩めるわけにはいかないのが福祉の現場とも言え、支援現場での子ども（利用者）、職員のメンタルヘルスについても課題と捉えています。

６月には職員会議において新型コロナウイルスに対しての現時点での正しい知識と、現実に若久緑園に入ってきた時の施設内ゾーニング（区分け）についてロールプレイを行いました。私たちの不安要素を減らす取り組みのひとつとも言えます。いつもにも増して真剣な眼差しで受講している姿に現実を思い知らされる想いでした。

そして、始まるものはいずれ終わるという真理のもと「希望」を持って生きていくことの大切さにも気づかされます。希望は政府やWHO等が与えてくれるものではありません。希望は私たちの心根にあるもの、燃え続けていくもの、決して絶えないものです。それは私たちが児童福祉、障がい福祉を志してこの場にいることとも通じています。目の前にいる子どもや利用者の方々、職員、その家族も含め「みんなの健康と安全を守ること。生活の質を高めること。」は私たちの使命であり、希望でもあると思います。その根底には私たちにある自己肯定感とそれゆえに他者を大事に想う博愛があります。そこからの想像力を働かせて、私たちの２週間前の行動が今の現実であることを認識した時に、予防の日々を粛々と積み重ねていくほかないと再認識するところです。

この困難を平常心で過ごすことはできないことも仕方ない面があります。ぎくしゃくしたら、「怒りよりもユーモアを。思いやりのある言葉・行動を。」心掛けていきたいと思います。この試練は何度でもやり直せる力を試されているのかもしれません。コロナロスの世界にはこの体験が大きな財産になっていると信じてやみません。

若久緑園 職員紹介

よろしくお願いします

理事長
亀谷　正

園長
中村　隆

園長補佐
中山　雄二

統括部長
上原　桂一郎

施設支援課　課長
鬼塚　康宏

施設支援課　主任
西原　理代
(児発管　兼務)

施設支援課　主任
肘井　隆志

医務

看護師
安達　やす子

介助員
飯田　聖枝

青葉寮

山口　裕輔
(リーダー)

村山　樹里

大河　剛

荻　弘樹

岡部　虎太郎

NEW

長山　一太
(新人)

総務

事務員
宝来 美野子

栄養士
阿藤 孝子

調理員
亀田 諭司

若葉寮

永田　竜吾
(リーダー)

田島　聡

豊田　竜一

浦　和哉

秋本 祐資

久次 あゆみ

グループホーム

安室 充博
(サビ管)

照葉寮

外間　勇太
(リーダー)

泉原　勇作

山下　千晶

NEW

石橋　侑季
(新人)

居石　唯菜

双葉寮

切通 成美
(リーダー)

濱崎　充

坂井　優

徳光　香織

寺田 ひろみ

山崎　良子

NEW

LEAF 生活介護事業所　りーふ

柚木崎　真悟
(サビ管)

山本勝巳

原田　康弘

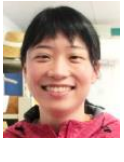
外間 由希子

古賀 祐子

放課後等デイサービス　ガーデン

地域支援課　係長
都合 賢祐
(児発管　兼務)

上村　亮太


上野 亜季

吉永　尚央

NEW

大谷　美穂
(新人)

ホームヘルパーステーション　ゆんた

薬師 愛美
(サ責)

原　猛
(サ責)

上村 哲平

中山 恵子

地域支援課事務
志間 裕江

生活介護事業所 りーふ 開所致しました！

ご挨拶（あいさつ）

生活介護事業所「りーふ」のサービス管理責任者になりました、柚木崎　真悟（ユキザキ　シンゴ）と申します。

私は若久緑園に勤め、主に生活支援と進路担当及び余暇活動（スポーツやエイサー）に関わってきました。子ども達と時に笑い、泣き、気持ちのぶつかり合い、そして励まし、感動を共有してきました。そこでは、常に「寄り添う支援」を心掛けてきました。

「りーふ」では、これから成人の方が対象となります。児童とは違った形の支援になりますが、「寄り添う支援」という点は共通すると思います。

若久緑園で培った経験を、「りーふ」でどのように活かしていけるのか。それが私に課されたものだと考えています。

「りーふ」のテーマとして「To be active」を掲げています。ウォーキング、軽作業、創作活動、ドライブ、畑作業、地域清掃等々の活動を通じて活躍できたという充実感を得られるような内容を考えています。また、私事ですが、ウェイトトレーニングを得意としています。利用者さんの健康増進の為にも今後活動内容の一つに揚げたいと思っています。

最後に、事業所名「りーふ」の意味です。山も木も葉っぱの集まり、色も形も違う葉っぱが集まると綺麗な木になり、森にもなります。一人ひとりを大事にしたいという思いを込めて…。「りーふ」という事業所が幹。葉っぱ一枚一枚が利用者さんであり、そして主役となります。いずれ「りーふ」が大樹となり、地域に根付く事業所となるよう努めていきたいと思います。

りーふの活動

5月からスタートした生活介護りーふ。
まだまだこれからですが、利用者のみなさんと一緒に「葉」を「樹」に、そして「森」に育てていきたいと思います！今後とも宜しくお願い致します。

カレンダー製作

ウォーキング

ドライブ

バスボム作り

誕生日会

野菜畑

※　りーふの車ではありません(笑)

青葉寮

令和２年度は、子どもたち16名と、職員６名でスタートしました。
今年度初めてのGW企画は、コロナウィルスの影響で、外出をすることができず、子ども達をがっかりさせてしまったかもしれません、、、
しかし、「外出ができないのなら、美味しいものを食べて楽しもう！！」を、合言葉に青葉寮では、ワンランク上(笑)のオードブルを準備して、子ども達も職員も楽しい、美味しいひと時を過ごしました。
今年度は、始まりから今までとは違う生活が続き、不安を感じながら過ごしてきましたが、「不安なんてなんのその！！」と笑って飛ばせる青葉寮にできるよう、子ども達と一緒に１年間楽しく過ごしたいと思います！！

若葉寮

令和２年度の若葉寮は児童：１４名　職員：６名でスタートしました。新型コロナウイルスの影響で長い春休みとなり、緊急事態宣言中はソフトボールの大会に向けて、ほぼ毎日ソフトボール練習を行いました！その成果もあり、児童ｖｓ職員の試合では児童の圧勝でした。その他にも、寮内で読書や、ゲームをする児童、ティボール練習をする児童と様々で、各々おうち時間を満喫していました。
ゴールデンウィークの企画は新型コロナウイルスの影響で寮内バイキングを行いました。ピザやハンバーガー、ケーキなどをデリバリーして、みんな満足の様子でした。
年度初めから帰省、外出、面会も出来ない状況が続き、児童は心身共に不安だったと思います。ですが、この状況だからこそ、前を向き、若葉寮児童、職員で楽しく明るい寮にしたいと思います。

双葉寮
ふたば

今年は14人スタートです！

GWに『ちょっと早い夏祭り♪』を企画しましたが、当日はあいにくの大雨・・・そんな中でも、寮内で企画開始!!みんなで協力して飾り付けをして、雰囲気作り、お姉さんたちは、出店のお手伝いまでしてくれました。
企画は見事に大成功☆彡
笑顔に溢れた一日を過ごすことが出来ました。
コロナ自粛で疲れていたけれど、良い気分転換になりました。(*^-^*)

てるてる坊主も作ったよ♪

照葉寮

永い永い【おうち時間】が続き、子ども達から「学校いつから？幼稚園まだかなぁ？お出かけまだできないの？」という声が出始めた頃、みんなのストレス解消が少しでもできればと思い、さまざまな事を子どもたちと一緒に取り組んでみました♪
飛行機を見に行こう！と空港近くの公園に出かけたり、GW企画では射的・スライム遊び・スーパーボールすくい・ヨーヨー釣りなど屋内お祭り企画☆そしてテイクアウトの昼食でお腹いっぱい！
そして最近こども達が毎日楽しみにしているのは「畑の水やり」。メロン！スイカ！とうもろこし！などなどができるのを（食べるのも？）楽しみにしているようです☆

社会福祉法人　共栄福祉会　令和元年度　決算報告書

資　金　収　支　決　算　表

（自）平成31年4月1日 ～（至）令和2年3月31日　　（単位：円）

収入の部			支出の部		
勘定科目		金額	勘定科目		金額
事業活動による収支	児童福祉事業収入	207,954,796	事業活動による収支	人件費支出	726,477,117
	保育事業収入	338,631,679		事業費支出	144,114,831
	障害福祉サービス等事業収入	477,337,043		事務費支出	137,942,670
	借入金利息補助金収入	9,576		支払利息支出	373,691
	経常経費寄附金収入	2,462,140		その他の支出	6,363,778
	受取利息配当金収入	14,308			
	その他の収入	14,518,118			
	事業活動収入計	1,040,927,660		事業活動支出計	1,015,272,087
施設整備等による収支	施設整備等補助金収入	325,395,000	施設整備等による収支	設備資金借入金元金償還支出	1,140,000
	施設整備等寄附金収入	19,803,000		固定資産取得支出	654,637,862
	その他の施設整備等による収入	240,000,000		ファイナンス・リース債務の返済支出	0
				その他の施設整備等による支出	2,807,633
	施設整備等収入計	585,198,000		施設設備等支出計	658,585,495
その他の活動による収支	長期運営資金借入金収入		その他の活動による収支	積立資産支出	2,750,000
	長期貸付金回収収入				
	積立資産取崩収入	72,000,000			
	その他の活動による収入計	72,000,000		その他の活動による支出計	2,750,000
収入合計		1,698,125,660	支出合計		1,676,607,582
当期資金収支差額					21,518,078
前期末支払資金残高					268,720,275
当期末支払資金残高					290,238,353

事　業　活　動　収　支　計　算　書

（自）平成31年4月1日 ～（至）令和2年3月31日　　（単位：円）

収益の部			費用の部		
勘定科目		金額	勘定科目		金額
サービス活動増減の部	児童福祉事業収益	207,954,796	サービス活動増減の部	人件費	726,477,117
	保育事業収益	338,631,679		事業費	144,114,831
	障害福祉サービス等事業収益	477,337,043		事務費	137,942,670
	経常経費寄附金収益	2,462,140		減価償却費	33,129,989
				国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 15,339,289
	サービス活動収益計	1,026,385,658		サービス活動費用計	1,026,325,318
サービス活動外増減の部	借入金利息補助金収益	9,576	サービス活動外増減の部	支払利息	373,691
	受取利息配当金収益	14,308		その他のサービス活動外費用	6,363,778
	その他のサービス活動外収益	14,518,118			
	サービス活動外収益計	14,542,002		サービス活動外費用計	6,737,469
特別増減の部	施設整備等補助金収益	325,395,000	特別増減の部	固定資産売却損・処分損	97,909
	施設整備等寄附金収益	19,803,000		基本金組入額	18,780,000
	固定資産受贈額	509,004		国庫補助金等特別積立金取崩額（除）	0
	その他の特別収益	2,214,750		国庫補助金等特別積立金積立額	325,395,000
				その他の特別損失	0
	特別収益計	347,921,754		特別費用計	344,272,909
収入合計		1,388,849,414	支出合計		1,377,335,696
当期活動増減差額					11,513,718
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額				503,165,025
	当期末繰越活動増減差額				514,678,743
	その他の積立金取崩額				72,000,000
	その他の積立金積立額				2,750,000
	次期繰越活動増減差額				583,928,743

貸　借　対　照　表

（令和2年3月31日現在）　　（単位：円）

資　産　の　部		負　債　の　部	
勘　定　科　目	金　額		金　額
流　動　資　産	648,781,879	流　動　負　債	368,222,308
固　定　資　産	1,407,043,006	固　定　負　債	237,457,712
		負債の部合計	605,680,020
		純　資　産　の　部	
		基　本　金	222,572,719
		国庫補助金等特別積立金	563,593,403
		その他の積立金	80,050,000
		次期繰越活動増減差額	583,928,743
		純資産の部合計	1,450,144,865
資産の部合計	2,055,824,885	負債及び純資産の部合計	2,055,824,885

財　産　目　録

（令和2年3月31日現在）　　（単位：円）

資　産　・　負　債　の　内　訳		金　額
資　産　の　部		
流動資産	現金預金・未収金・立替金・前払費用・仮払金	648,781,879
固定資産		1,407,043,006
基本財産	建物/若竹保育園/板屋学園/若久緑園　　土地/板屋学園	454,039,610
その他の固定資産	建物・構築物・機械及び装具・車輌運搬具　他	953,003,396
資　産　合　計		2,055,824,885
負　債　の　部		金　額
流動負債		368,222,308
固定負債		237,457,712
負　債　合　計		605,680,020
拠点区分間の取引は相殺		
差　引　純　資　産		1,450,144,865

苦情受付委員会からお知らせ

今回は苦情等の受け付けはありませんでした。
苦情相談等がありましたら、お気軽に苦情受付担当者にお申し出頂くか、事務所前に備え付けている「ご意見箱」にお入れください。

若久緑園に関する質問・意見・疑問などがございましたら、下記の苦情受付委員までお申し出ください。誠意をもってご返答致します。

【苦情受付担当者】　鬼塚康宏（施設支援課　課長）
　　都合賢祐（地域支援課　係長）
【苦情解決責任者】　中村隆　（　園　長　）
【第三者委員】
武末　政利（春日市桜ヶ丘自治会長）
　住所：春日市桜ケ丘８丁目７２番地
　電話：０９０－５７４６－６５０５
諏訪田　孝一（新開学園元園長）
　住所：福岡県糸島市神在１３１－３９
　電話：０９０－５９３９－４７１２

事務所で直接話しづらい、話し合っても解決できない時は
こちらでもご相談をお受けしています。（匿名でのご相談も可能です）

【福岡県運営適正化委員会事務局】
（社会福祉法人　福岡県社会福祉協議会)
　住所：春日市原町３丁目１番７　クローバープラザ４階（東棟）
　電話：０９２－９１５－３５１１

おしらせ

若久緑園
夏祭り

今年度はコロナウィルスの感染防止の為、例年通りの祭り開催は**中止**とさせて頂きました。

緑園内において、子供たちと小規模ですが、夏を感じる催しを行いました。また平穏無事に開催できる日を切に願っております。

その際は、何卒よろしくお願い致します。

今回の表紙

切手の中の風景画は、青葉寮の吉安翔くんの作品です！
水彩色鉛筆などを使って、この作品含め、沢山の絵を描いてくれました。
翔くんありがとう♪

ボクの作品です

放課後等デイサービス「ガーデン」

今年の夏は、コロナウィルスの影響もあり、お出かけやイベントなどが中々できず…
　ですが、少しでも、夏を感じよう！という事で、うちわ作りや浴衣体験などを取り入れています！
　6月からガーデンを利用されている「まいこちゃん」「わこちゃん」。浴衣とても似合っていました☆

INDEX

P1　園長だより
P2-3　職員紹介・生活介護「りーふ」
P4-5　各寮から(青葉寮、若葉寮、双葉寮、照葉寮)
P6-7　決算報告
P8　お知らせ・地域支援など

GP グリーンピース

次号は12月頃を予定しています！

HPはコチラ